関西労災看護部

GOOD CARE NURSE

第１４号

2024年３月発行

職員の皆様はいかがお過ごしでしょうか？　機能評価を終えて、令和５年度も終わろうとしています！

さて、GOOD CARE 第１４号は ***BEST NURSE*** 特集です。

今年度 BEST NURSE に輝いた方々をご紹介します！！

祝　★令和５年度 Best Nurse★

外来　吉田　さくらさん

ベストナース賞ありがとうございます。これも師長さんをはじめ師長補佐さん、周りのスタッフの支えがあったからこそだと思っています。４月の部署移動により新しい場所での勤務が始まったので、最初はとまどうことも多かったですが、部署メンバーと話し合い、より良い看護のために実施した業務改善がよい結果につながったのだと思います。今後も周りと協力しながら、患者さんのための看護ができるよう努力していきたいです。

ICU　岡田　雅博さん

昨年の２月に ICU に異動し、重症度や新たな疾病や処置に戸惑いながら、１年間過ごしてきました。その中で、日々の患者に向き合い看護を実施できているのは、師長さん補佐さんをはじめとする ICU スタッフの皆様の指導や助けがあってこそだと思っています。この度は、素敵な賞を本当にありがとうございました。自己の夢に向かって、自己研鑽を積んでいくとともに、後輩への指導などを通して微力ながら部署貢献できるよう頑張ります。

医療連携総合センター　川村　恵　さん

この度は、このような素敵な賞に選んで頂きありがとうございました。　退院調整では、直接的な看護を実践するのではないため、患者様や家族と関わる時間が限られています。そのため、短い関りの中で、患者様と家族双方の意向に沿った支援をすることの難しさを感じるとともに、その役割の重要性にやりがいも感じています。これからも、患者様と家族の思いを大切にした退院支援ができるように、寄り添う気持ちを忘れずに頑張ります。

南６階病棟　金丸 穂乃花さん

この度はベストナース様な賞を受賞させて頂き嬉しく思います。

今年度は臨地実習委員として学生指導に取り組み、また中堅研修に参加させていただきました。自身の委員会での取り組みや、日々行っている看護を振り返るいい機会となりました。これからも病棟スタッフとともに、患者さんに寄り添い、より良い看護ケアを提供できるよう、日々成長していきたいと思います。

HCU　本庄　茜さん

今年度は新人教育委員としての役割をいただき活動させていただいています。日々新人さん達の成長を感じ、とてもうれしく感じています。指導をする中でも学びを得ることが多く、これまでに得た学びを部署へ還元していきたいと思います。日々忙しい病棟ではありますが、その中でも自身が大切にしていることを伝えていければと思います。

師長・補佐をはじめスタッフの皆さんにはいつも支えていただき感謝しています。この度はありがとうございました。

北４階　川口　裕美さん

この度はベストナーシング賞に選んで頂きありがとうございます。今回私は５年前に初回心不全で指導介入した患者様が終末期を迎えられた経過と、自己の看護を振り返りました。自己の経験を一緒に働いているスタッフや後輩に情報共有できたこと、共感してもらえたことがとてもいい経験になりました。これからも自己の看護観を大切にしながら、患者様・家族様と信頼関係が築けるよう看護を行っていきます。

手術室　北村　美和子さん

私は手術室勤務をしていますが、日々自分や自分の家族がしてもらったら嬉しいなと思う事を基本に忠実にやって来ました。手術室では患者さんと関わるのは一瞬だったりしますが、患者さんは手術と向き合わないといけないと言う不安な思いもあるけれど、前向きな覚悟を持ち手術に挑む気持ちを持っていることを忘れずに、常に寄り添った看護をこれからも実践し、継続し続けて行きたいと思います。

北５階病棟　植田　菜月さん

この度は、ベストナースに選んでいただきありがとうございました。

私自身日々の業務の中で、患者さん一人ひとりに丁寧な看護ができているかと聞かれれば、できていると言う自信はありません。患者さんから「看護師さん忙しそうだから」という遠慮の声を聞き、そういった姿を見せてしまっていることに申し訳なく感じます。そのため、私は患者さんが訴えやすい環境を整え、短時間でも寄り添う事を意識しています。今回の賞は、日々の積み重ねが患者さんとの関わりの中で伝わったことだと思うので、この賞を糧にこれからも頑張って行こうと思います。

南５階病棟　江原　愛希さん

この度はベストナース賞に選んでいただきありがとうございます。南５階病棟では、毎日忙しくて業務に追われることも多いですが、スタッフ同士で助け合い日々頑張っています。今年はチームリーダーになり自分のことだけでなく、病棟内のスタッフにも気を配りフォローするよう心掛けています。これからも、患者からもスタッフからも信頼される看護師を目指して頑張りたいです。

北６階病棟　黒田　絢美さん

この度はベストナースという素晴らしい賞を頂きありがとうございます。

当院は新型コロナウイルスが５類へ移行した現在も面会制限があり、患者と家族が自由に会えず、状態が悪化した場合などに限り家族の制限なく会うことができます。その時には変わり果てた姿で再会になることもあり、家族の悲しみやショックは計り知れません。限られた時間の中でも看取りの時間を家族と看護師が共有し、このような時間を大切に今後も看護を行っていきたいです。

南９階病棟　東本　梨々子さん

今回 best nurse 賞をいただきありがとうございます。私は知識、技術と未熟な部分はありますが、先輩方や同期、後輩、患者様に励まされ日々頑張ることができています。日々の患者様との関わりになかで寄り添う看護とは何かを常に考え、今後もより良い看護を提供できるように努めていきたいと思います。

北７階病棟　野口　由貴　さん

この度はベストナース賞に選んでいただき、大変光栄に思います。私は、日々の多忙な業務の中でも、患者に寄り添った看護を提供できるよう心がけています。今後も患者、家族が安心して入院生活が遅れるよう、日々精進していきたいと思います。また、後輩看護師への教育として私の思いや信念を伝えていければと思います。ありがとうございました。

北８階病棟　島田　千鈴さん

今回このような賞をいただきとても嬉しく思います。

整形外科と救急科の病棟に配属後から、あっという間に５年経ちました。

新人の頃からの自分を振り返ると大変なことが沢山ありましたが、病棟の皆様や同期に日々支えられて今日まで頑張ることが出来ました。

今後も引き続き、患者様に寄り添い、少し言いにくいことも気兼ねなく声をかけられるような看護師を目指して、看護ケアに努めたいと思います。ありがとうございました。

南８階病棟　　藤岡沙綾さん

この度はこのような素敵な賞を頂戴しとても嬉しく思います。看護師２年目で知識も技術も未熟な中、Best Nurse 賞を頂けたのは、指導して頂いた先輩、支えてくれる同期などスタッフのおかげだと思います。業務をこなす事で精一杯になる時もありますが、今まで以上に患者さん・家族に寄り添った丁寧な看護を行えるよう、努力していきたいと思います。ありがとうございました。

CCU　西村　沙羅さん

この度はこのような素敵な賞を頂きありがとうございます。集中治療室で働く看護師として家族看護は、とても大切にしていたことであったので、このような賞を頂けたことをとても嬉しく思います。集中治療室に入院する患者さんの家族は、驚きや不安・心配などの心理的危機に陥るため、私は家族看護をとても大切であると考えています。患者・家族に寄り添い、安心に繋ぐことにできるように日々努めていきたいと思います。

南７階病棟　中島　和泉さん

この度は素敵な賞を頂きありがとうございます。日々業務に追われている中でも病気と共に生きる患者様への関わり方や寄り添ったケアという部分は日々意識して取り組んでいる部分になるので、周りの方が評価してくださったことは嬉しく思います。このような賞を頂いたことを励みに、これからも私の看護観を大切に育んでいきたいと思います。ありがとうございました。

北９階病棟　武石　健太郎さん

この度はベストナース賞ありがとうございます。昨年の４月に既卒入職し、以前の職場との違いにあたふたとしていましたが、病棟スタッフの方々のサポートのあり、病棟にも慣れ日々の業務にあたることができました。

急性期から終末期の患者様が入院しておられ多忙な日々ではありますが、優しさを持った看護を大切にしながら実践しています。これからも業務の中でがん看護について学びながら、資格取得を目指していこうと思います。

北 10 階病棟　曽谷　啓子さん

この度はベストナース賞に選んでいただきありがとうございます。この賞は私ひとりで受賞できたのではなく、矢瀧師長、小浴補佐、スタッフが指導していただいたからだこそと思います。今回の経験を活かし、日々の看護に繋げていきたいと思います。ありがとうございました。

コメディックスで皆様からの意見をお聞かせください。
皆さんからの自薦、他薦は問いません「いいね！」情報をお待ちしています。
発行元：看護部定着活動委員会